

高温により開花が平年より早まっており、播種が早い圃場は既に開花期を迎えています。

大豆は開花期から登熟初期にかけて多量の水を必要とします。土壤の乾燥が進んでいるため、適期に遅れないよう周辺明渠への入水や畦間かん水を積極的に行いましょう！



- ◎ 土壤水分が不足すると・・・
落花や落莢が発生！
- ◎ 積極的なかん水で、着莢率の向上や粒の肥大を図りましょう！

かん水のタイミング

- ・乾燥が続き、土壤表面が白く乾燥し、亀裂が生じたとき
- ・開花期以降に土壤の乾燥が続くと予想される時
- ・特に、開花始期から約2週間の間に実施することが効果的

かん水の実施方法

- ・水尻と暗渠を閉じ、周辺明渠や畦間を利用してかん水し、ほ場全体に均一に水が行き渡ったら速やかに排水する。
- ・30aを超えるほ場では、3日間に分けてかん水する。
- ・土壤表面に滞水すると湿害を生じるので、過度なかん水にならないように注意する。

◎ 用水を地域内で効率的・効果的に利用し、地域や圃場全体に行き渡るようにしましょう！

農作業事故と熱中症に要注意！声をかけ合い農作業事故を防止しましょう！